

# 和の国 日本の再生

～温故知新で新しい日本を～

平成 23 年 11 月 12 日  
衆議院議員 中後 淳

## 1. 和を以って貴しと為す

十七条憲法: 日本初の成文法

一曰。以和為貴。無忤為宗。

(和を以って貴しとなし、忤<sup>さから</sup>うこと無きを宗とせよ。)

⇒ 人と争わずに和を大切に下さい

～ 略 ～

十七曰。夫事不可独断。必與衆宜論。

(それ事は独り断むべからず。必ず衆とともによろしく<sup>あげつら</sup>論うべし。)

⇒ 大事なことは一人で決めずに、必ず皆と相談下さい

## 2. 日本の力の源泉は？

高度経済成長を支えた仕組み

⇒日本の経営の「三種の神器」日本特有の制度

「年功序列」「終身雇用」「企業内労働組合(労使一体)」

他にも、護送船団方式, 株式持合, 系列, メインバンク制,  
学歴主義, 官民共同体, 談合, …

こういった仕組みは、高度経済成長期だから維持できた仕組みか？

⇒日本の文化・伝統に基づいた仕組みが日本人の力を引き出し、  
高度経済成長できたと考えるべき！

### 3. 日本経済の停滞の原因

1990年: 日米構造協議⇒バブル崩壊とともにこの仕組みが崩壊

※それまでは通商摩擦だった

日本の文化「和」に基づいた経営手法の破壊

⇒アメリカを始めとする海外からの圧力

⇒海外ではマネのできない、日本特有の仕組みであることの証明!

現在は経営構造の破壊後の利益吸引のステージ

郵政民営化: 郵貯・簡保の金融資産(世界最大: 350兆円)

⇒米国資本による日本の個人金融資産の略奪が狙い?

⇒政権交代により歯止め: 国民の生活が第一。

### 4. TPPについて

ところで TPP(環太平洋経済連携)ってなんでしょう?

もともとは P4 協定(2006年)

環太平洋小国同士の戦略的経済提携によるプレゼンスアップがスタート

※P4: シンガポール, ブルネイ, チリ, ニュージーランド

2010年アメリカの参加表明により様相一変

⇒アメリカ主導のもと急速に推進

現在: 参加表明国 9カ国

P4+アメリカ, オーストラリア, ベトナム, ペルー, マレーシア

#### 環太平洋?

カナダ, メキシコは?

ロシア, 中国, 韓国, 台湾は?

インドネシア, フィリピン, タイ, ミャンマー, ラオス, カンボジアは?

⇒経済大国はアメリカのみ: GDP比率で約90%がアメリカ

## 経済連携？

- ① 加盟国の中で工業品・農産品を含む全品目の関税を10年以内に原則全面撤廃！
- ② 政府調達, 知的財産権, 労働規制, 金融, 医療サービスなどにおける全ての非関税障壁を原則撤廃し自由化！⇒国内法・制度の見直しも含む

“和”の精神は相手の立場・主張を認めることから始まる！

⇒TPP は互いの文化・伝統:国柄の否定が原則

⇒“和”の精神とは対極の考え方が原則ということ。

## では、これまでの経済連携の潮流は？

WTO ルール(国際貿易に関するルール)作り

ドーハラウンド

⇒先進国と発展途上国の激しい対立により2006年7月に中断

⇒2国間のFTA/EPAへ:WTOの補完

⇒関税原則全面撤廃や全非関税障壁撤廃の事例はTPPから！

⇒原則的に互いの文化・伝統:国柄の肯定が原則

その中で自由貿易・経済連携の枠をいかに広げるかが交渉の対象

⇒それでもなかなか折り合わない！

国柄の否定を原則とするグローバル化は“和”精神に反する

⇒“和”の大局“争”への道と考える

## 日本は互いの国柄を認める経済連携を前提とすべき！

⇒例外品目(関税)を認め、各国の法律・制度を尊重する非関税障壁の存在を前提とした経済連携をグローバルスタンダードにするのが日本の役割！

## TPPは受け入れるべきではない！

日中韓EPA, 日豪EPA, 日EU EPAを優先し、グローバルスタンダードとする努力が必要！

その上で、TPPを含めたアメリカとの交渉を行う戦略が日本の国益と考える。

## 5. なぜ日本は停滞しているか？

### 政治が機能していないのが最大の要因

“協和”と“競争”，“公”と“私”で考えてみると分かりやすい。

現在、民主党，自民党とも党内で激しい勢力争いが行われている。

### では、もともとは？

非常に大雑把にとらえると

自民党：協和と公を尊重する政党

民主党：自民党の逆張り⇒競争と私を尊重する政党として成長

自民党

小泉構造改革により新自由主義＝競争と私を尊重する政党へ  
⇒自民党が小泉首相の登場により民主党的な政党へ

民主党

政権交代を目的とする政党⇒民主党的になった自民党の逆張りへ  
⇒協和と公を尊重する政党へ(小沢鳩山路線)

⇒政権交代実現！

しかし

政権交代実現後小沢・鳩山両氏の撤退によりももとの競争と私を尊重する勢力が台頭し党内が二分される。

現在

自民党：執行部は小泉路線＝競争と私を尊重する路線(TPP 推進)

所属議員は郵政民営化造反組などももとの協和と公を尊重する路線の議員多数

民主党：執行部は競争と私を尊重する路線へ回帰(TPP 推進)

所属議員は一期生を始め政権交代組多数＝協和と公を尊重する路線の議員多数

## 6. 結論

「協和と公を尊重する政党」

「競争と私を尊重する政党」

の政界再編が必要！

私:「協和と公を尊重する政党」を築くために力を尽くす！

政権交代から2年、TPPへの参加表明が大きなきっかけになりうる！

すべての法律、制度を“和”の精神に見合っているかで判断・見直すことで日本は再び成熟と成長を両立する環境を築くことができ、国際社会に尊敬される国としてのポジションを確立できると考えます。

# 「和の国」日本の再生

どうもありがとうございました！